

横須賀市谷戸地域の斜面住宅地に関する研究

A Study on Slant City of YATO in Yokosuka

○吉元優樹¹, 山中新太郎²*Yuki Yoshimoto¹, Shintaro Yamanaka²

第一章 序論

1-1 研究の背景と目的

世界に存在する斜面都市に魅力を感じる。イタリアのアマルフィやエーゲ海に面して広がるギリシャのサントリーニ島フィラの街など。世界各国の斜面地に広がる街並みは独自の時代背景やルールのもとに形成されてきた。その中で、我が国日本にも魅力ある斜面都市は存在する。呉市や尾道市、長崎市などそれぞれの斜面都市の魅力は世界に誇れる街並みの一つと考える。

しかし、斜面地に住むことで生活の豊かさを確保する反面、課題も同時に抱えながら生きていくことになる。人々はなぜ斜面地に住むのか、なぜ魅力を感じるのか、様々な空間構成が人々の生活に影響を与えていると考え、斜面地に住むことの可能性や課題の要因を調査を通して明らかにしていくことを目的とする。

第二章 横須賀市谷戸地域概要

2-1 研究対象地域

研究対象地域は神奈川県横須賀市汐入 5 丁目の稲荷(いなり)谷戸の地域内とする。



fig1. 研究対象地域

2-2 現状

研究対象地域は谷戸の斜面地に低層住宅が建ち並び、そのほとんどが階段や坂道を登ってそれぞれの住宅へとアクセスする地域である。車が進入可能な道路も幅員 4m ほどで、谷戸の平地には駐車場がいくつかある。また、斜面地には空き家などの老朽化した建物や整備されていない道がある。幅員が十分ではなく接道条件を満たしていないものも多く、老朽化した建物がその

まま手を付けられずに放棄されている原因となっている。しかし、駅からのアクセスは良く、最寄駅 3 駅の利用が可能である。自宅へは斜面を登る手段が主になるが、車が進入してこない分、坂や階段の途中で住人の雑談する場面が所々で見られた。

2-3 本研究の位置づけ

谷戸地域における既往研究では空き家・空地の発生要因に関する研究や谷戸の道における景観特性などの研究が行われている。また、谷戸の定量的調査としては谷戸のもつ要素の魅力を新たな不動産評価として調査する研究などが行われている。本研究は調査地域のなかで感じられた地形の特徴やそこから見えてくる道のつながりや使われ方、住宅のつくられ方などに着目し、谷戸の空間構成を明らかにする。そして、そこで課題や魅力を検討する点が独自の研究である。

第三章 現地調査

3-1 調査項目

研究対象地域における下記項目を調査する。

- ① 標高、道の形状
(標高・平坦な道・坂道・階段・人の通行不可・他谷戸からのアクセス・車通行可能、不可)
- ② 公園、畑の分布(畑は現地目視による確認ができる場所とする)
- ③ 空地・荒地の分布

3-2 調査方法

- ・調査期間:2014.7/10-9/12
- ・調査時間帯:13:00-18:00

現地調査により得られた結果を元にそれぞれ地図上にプロットする。また、デジタル写真による撮影も同時に行う。地形を把握するために標高や階段の位置などは横須賀市のホームページやゼンリン住宅地図、グーグルマップなどからも参照する。

3-3 調査目的

3-1 の調査項目の目的をそれぞれ記す。

- ① 谷戸地域の標高、道の構成を把握する
- ② 谷戸地域の広場の状況を把握する
- ③ 谷戸地域の手つかずの土地の状況を把握する

1: 日大理工・学部・建築、2: 日大理工・教員・建築

第四章 調査結果と考察

4-1 結論と展望

大きく分けて谷戸地域の道、広場性の 2 つの項目を見た。課題と可能性をそれぞれ挙げてみると、fig2 では道に関しては木の枝分かれ状に道が広がり、谷戸の上部に沿って展開していく形が見られる。道の終点が行き止りや整備されていない道であると、災害上、火事などが起こった場合に避難することができなくなる。また、地域と地域を繋ぐことにより人々の交流や互いに見る見られるの関係性により周りの住環境の改善などにつながるのではないかと考える。可能性としては fig3 から谷戸上部では車の進入がないため、その分、人々のための空間が繰り広げられると考える。その可能性を引き出すのが広場性の存在と考える。しかし、fig5 から課題が見え、荒地、空き地の存在、また、fig4 から公園や畑などの数の少なさなどから道と広場性の相互に良い空間ができるための相乗効果が見られないと感じた。荒地、空地の有効活用を行い人々が集う広場などに転換することなどで解決することにより、斜面地ならではの魅力ある暮らしの 1 つの可能性をつくりあげることができると思う。今後は、まだ、調査しきれていない項目もあるため、また、更なる精度を高めた調査や敷地模型製作による考察なども必要だと感じている。

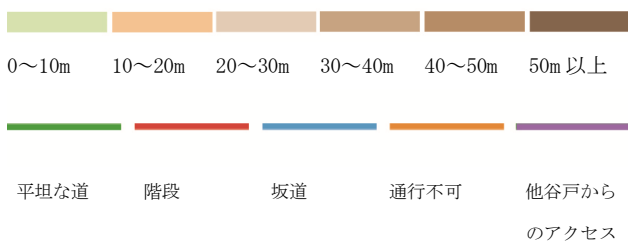
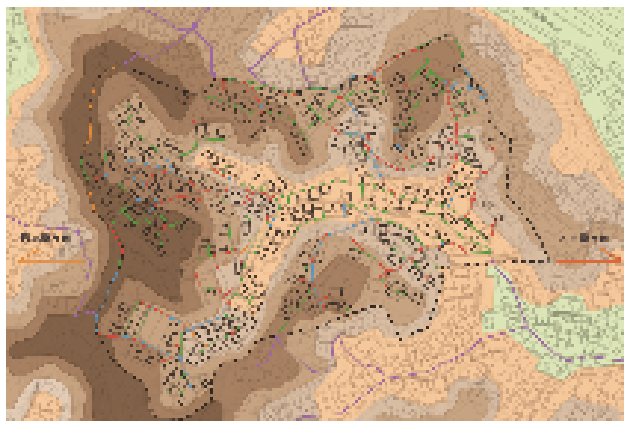


fig2. 研究対象地域

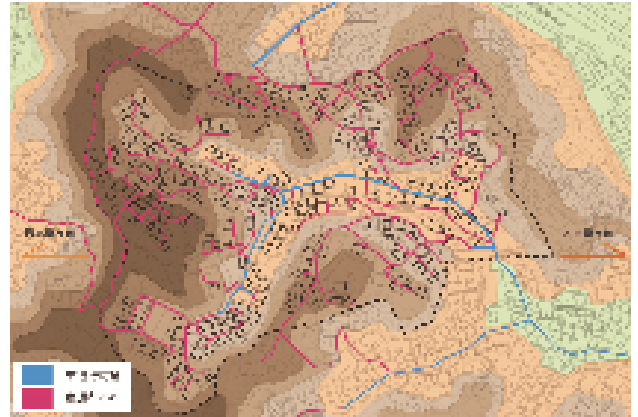


fig3. 車通行可能、不可

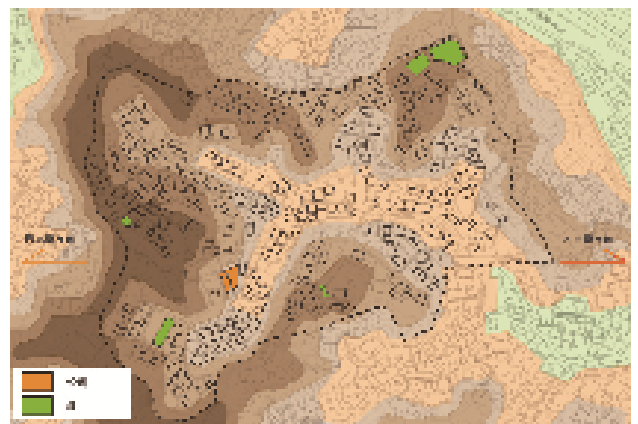


fig4. 公園・畑の分布

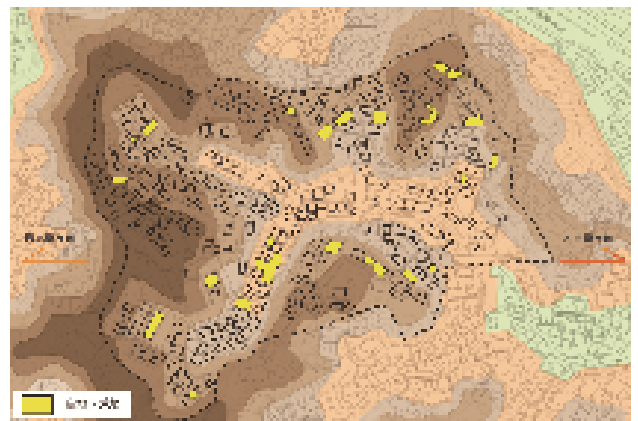


fig5. 空地・荒地の分布

【参考文献】

- [1] 横須賀市ホームページ
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/>
- [2] 横須賀市都市部都市計画課
 「谷戸地域空き家等実態調査報告書」2011.6